

～令和6年 浦霞 夏詣酒への道 当日号～

早いもので今年も1年のほぼ半分が経過し、6月26日(水)イベント本番を迎えることとなりました。「夏詣酒」の出荷も4年目を迎え、さらに認知度が高まってきていると感じます。今年は東京と北海道から1店ずつ新規のご参加をいただくこととなり、大変嬉しく思います。数量もおかげさまで、前年比約105%の4,863本のご発注をいただきました。これからも加盟店様とお客様との結びつきを強める商品として、重要な位置づけであり続けますよう取り組んで参ります。

さて、本日加盟店の皆様とともに神社に参拝し茅の輪をくぐり、身の穢れを落とし残り半年の息災を祈願いたしました。近年も自然災害や地域紛争、物価高騰など様々な憂いは尽きません。この「夏詣酒」は、「家内安全」「無病息災」「商売繁盛」「疫病退散」の願いを込め、お客様に日本酒のチカラで皆様が笑顔になれるひと時を創りたいとの想いから造られたお酒ですので、是非ご賞味いただきたいと願っています。



夏詣酒開会式



杜氏による説明



集合写真

夏詣酒 純米吟醸 浦霞

使用米 宮城県産ササニシキ

精米歩合 55%

アルコール度数 15度

日本酒度 +1

酸度 1.5

アミノ酸度 1.6

価格 1,750円(税別)



社長佐浦は、今期の夏詣酒の味わいについて「ややフレッシュ感を伴う青リンゴやマスカットなどを連想する穏やかで爽やかな香り、軽めの優しい甘味とすっきりとした酸味が特長の、これからの暑い夏にぴったりの味わいに仕上がりました」と述べました。また、赤間杜氏は『令和5年産のササニシキは硬く溶けにくい米質のため、米の浸漬と麴造りに細心の注意を払いました。穏やかな吟醸香とほど良い旨味、ハリ、キレのあるバランスのとれたお酒に仕上がりました』とのこと。皆様どうぞ美味しくお召し上がりになりますようにと、社員一同心を込めて造ったお酒です。

2024年6月26日

浦霞醸造元(株)佐浦 中村 拓